アクティブノイズキャンセリングヘッドホン
ATH-ANC7b

取扱説明書

audio-technica

QuietPoint®

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

**本製品は周囲の騒音を低減し、より快適な環境で音楽を楽しむためのノイズキャンセリングヘッドホンです。
内蔵された小型マイクロホンが周囲の騒音を検知し、キャンセリング信号を生成して騒音を効果的に低減します。**

※本製品のノイズキャンセリング機能は主に300Hz以下の騒音を低減させるため、それ以上の周波数成分の多い騒音（電話の着信音、話し声など）に対しては効果がほとんどありません。

Noise Cancellation empowered by ANR™
Technology from Phitek Systems Ltd,
www.phitek.com

audio-technica　保証書　持込修理

型番	ATH-ANC7b
ご購入年月日	年　月　日
保証期間	ご購入日より　1年
フリガナ ご氏名	
ご住所　〒	☎　（　）
販売店・住所	

●裏の保証規定を必ずお読みください。

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206　http://www.audio-technica.co.jp

お問い合わせ先（電話／平日9:00～17:30）
商品のお問い合わせや故障・修理のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口及びホームページの「サポート」までお願いします。
●相談窓口（お問い合わせ）　0120-773-417
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp
●サービスセンター（故障・修理）　0120-887-416
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp

安全上の注意

**本製品を安全にご使用いただくための注意事項です。
使いかたを誤ると事故が起こることがあります。
ご使用前に必ずお読みください。**

⚠危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体についての注意

⚠警告

●自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しないでください。交通事故の原因となります。
●周囲の音が聞こえないと危険な場所（踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など）では使用しないでください。

⚠注意

●耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。
●肌に異常を感じた場合は、すぐにご使用を中止してください。
●本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐにご使用を中止してください。
●分解や改造はしないでください。
●ハウジングとアームの間に、指などをはさまないようにご注意ください。

使用上の注意

●ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
●交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
●接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
●強い衝撃を与えないでください。
●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。
●本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
●本製品をそのままバッグやポケットなどに入れるとコードが引っかかり、断線の原因になります。必ず本製品からコードを外して、付属のケースに収納してください。
●コードは必ずプラグを持って抜き差ししてください。コードを引っ張ると断線や事故の原因になります。
●コードをポータブル機器に巻きつけないでください。断線の原因になります。
●デジタルアンプを搭載したポータブルプレーヤーなど、一部の機器ではご使用いただけない場合があります。
●本製品はノイズキャンセリングヘッドホンとして設計されていますので、電源オンとオフで音量差があります。
●電池なしでのご使用は補助的なものです。電池が切れた場合は、新しい電池に交換してご使用ください。
●付属の航空機用変換アダプターは、航空機の搭載機材により使用できない場合があります。
●航空機内で電子機器が使用禁止になっている場合や、機内の音楽サービスを個人のヘッドホンで使用することが禁止されている場合は、本製品を使用しないでください。

●φ6.3/φ3.5mmステレオジャックのヘッドホン端子以外の機器と接続する場合は、適切な変換プラグアダプターをお買い求めください。
●コードを延長する場合は、別売のヘッドホン延長コードをお買い求めください。

電池についての注意

指定電池	単4形アルカリ乾電池

ニッケル水素などの充電式電池やパワーチェッカー付きの乾電池は使用しないでください。

⚠危険

●電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。

⚠警告

●幼児の手の届く所に置かない
電池を飲み込んだ場合はすぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。

●火の中に入れない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●極性通りに入れる
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●液漏れした電池はすぐに取り出し、液は素手でさわらない
・幼児がなめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。

●硬貨やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の＋と－を接続しない
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●乾電池は充電しない（乾電池の場合）
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●使い切った電池はすぐに取り出す
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●長期間使用しない場合は電池を取り出す
液漏れによる故障の原因になります。

⚠注意

●外装ラベルがはがれた電池は使用しない、ラベルをはがさない
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●変形させたりハンダ付けしない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●以下の場所で使用、放置、保管しない
・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
・炎天下の車内
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

●保管、廃棄の場合は端子部をテープなどで絶縁する
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

●水に濡らさない
発熱の原因になります。

●指定の電池以外使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する
環境保全に配慮してください。

■ お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

●本体について ………… 乾いた布で拭いてください。
●プラグについて ………… プラグが汚れたまま使用すると、音とびや雑音が入る場合があります。汚れたら乾いた布で拭いてください。
●イヤパッドについて …… 乾いた布で拭いてください。

●イヤパッドは消耗品です。保存や使用により劣化しますのでお早めに交換してください。イヤパッドの交換、その他修理については、販売店または当社サービスセンターへお問い合わせください。

■ 故障かな?と思ったら

アクティブノイズキャンセリング機能の仕組み

本製品に内蔵された小型マイクで周囲の環境騒音（乗り物の騒音やエアコンなどの空調音など）を収音し、その逆位相音を出して騒音を打ち消す仕組みになっています。
その結果、環境騒音が低減して聞こえます。

※全ての騒音が消えるということではありません。
※パワースイッチをオンにすると「サー」という音がしますが、これはノイズキャンセリング機能の動作音で故障ではありません。

Q1. 音が出ない。

A1：**パワーインジケーターをご確認ください。**
パワースイッチがオンの状態で、インジケーターが消えている、または点滅している場合は、新しい電池と交換してください。

A2：**電池無しで聴く場合はパワースイッチをオフにしてください。**
パワースイッチがオンのままでは音は聞こえません。

Q2. ノイズキャンセリング効果が感じられない。

A1：**パワーインジケーターをご確認ください。**
パワースイッチがオンの状態で、インジケーターが消えている、または点滅している場合は、新しい電池と交換してください。

A2：**電池ケースのフタが確実に閉まっているかご確認ください。**
フタが浮いているとノイズキャンセリング効果が低下します。

A3：**ヘッドホンをかけ直してください。**
ヘッドホンと耳の位置が合っていない可能性があります。

A4：**周囲の騒音がキャンセリング周波数に合わない場合があります。**

Q3. ノイズが出る。

A1：**デジタルアンプを搭載したポータブルオーディオなど、一部の再生機器では、ノイズが出る場合があります。**

Q4. ハウリング音（「ピー」という音）が鳴る。

A1：**ヘッドホンをかけ直してください。**
ヘッドホンと耳の位置が合っていない可能性があります。

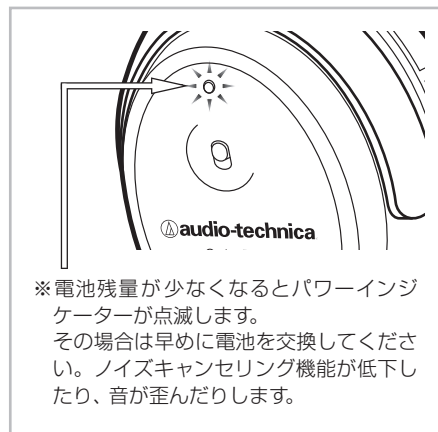
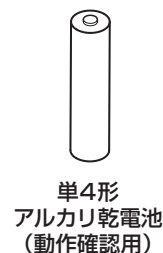
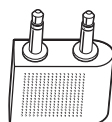
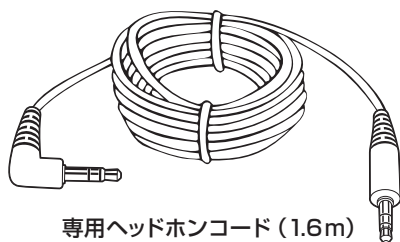
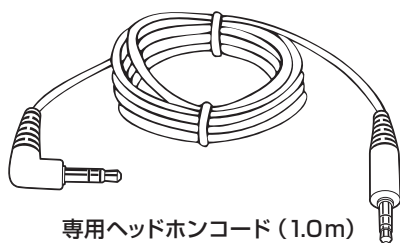
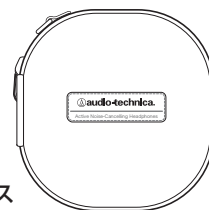
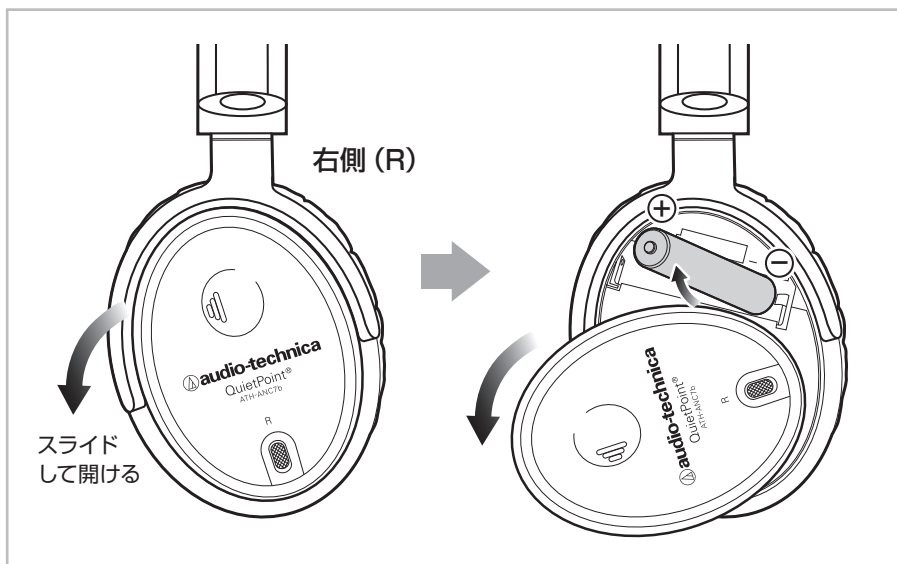
Q5. 音がひずむ。

A1：**接続した機器の音量を下げてください。**

A2：**パワーインジケーターをご確認ください。**
パワースイッチがオンの状態で、インジケーターが消えている、または点滅している場合は、新しい電池と交換してください。

Q6. ブーン、パタパタといった音が聞こえる。

A1：**近くにある携帯電話やコンピューター関連機器のノイズを拾っている可能性があります。**
ノイズを発生させる機器から遠ざけてご使用ください。

■ 各部の名称と機能

■ 電池交換のしかた

1 右図のように電池ケース（右側）のフタを開け、電池を取り出してください。

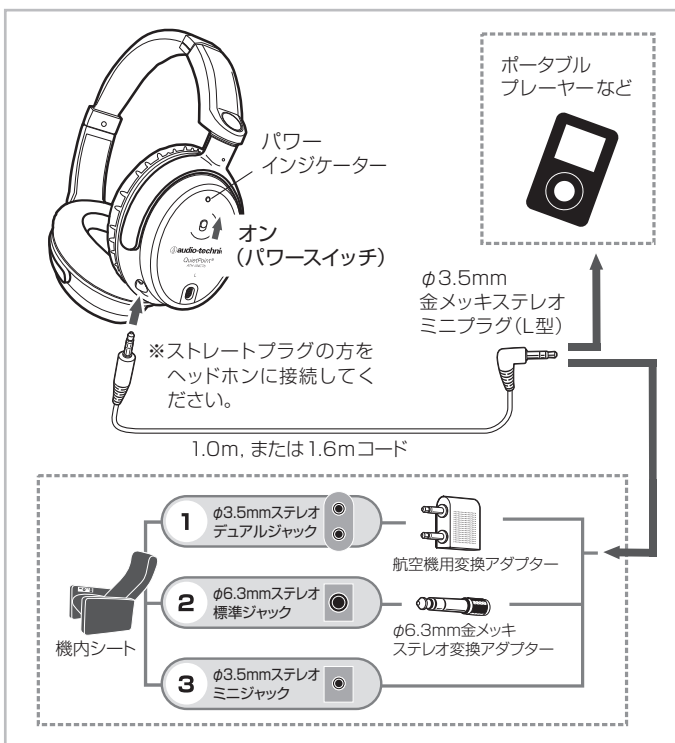
2 ＋－の極性表示に合わせて新しい電池（単4形アルカリ乾電池）を1本入れてください。

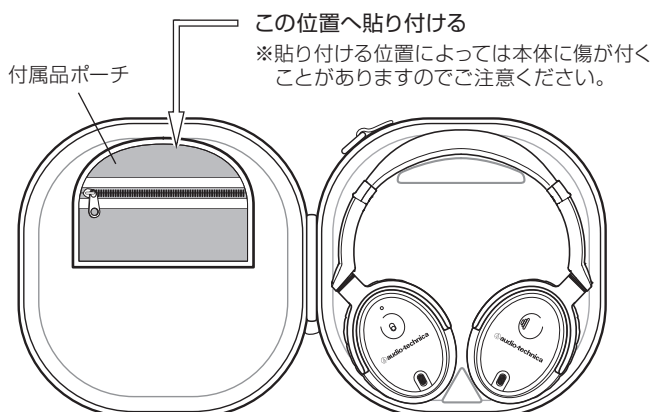
3 電池ケースのフタはカチッという感触があるまで確実に閉じてください。

■ 使いかた

1 接続する機器の音量を最小にして、付属のヘッドホンコードで本製品を接続してください。航空機でご使用の場合は下図のように付属の航空機用変換アダプターなどをご使用ください。

※ヘッドホンコードのプラグは奥までしっかりと差し込んでください。

2 本製品のパワースイッチをオンにし、パワーインジケーターが点灯していることをご確認ください。
（ノイズキャンセリング機能を使用しない場合はオフにします。この場合、インジケーターは点灯しません。）

3 本製品の"L（左）"の表示側を左耳に、"R（右）"の表示側を右耳に装着し、イヤパッドが耳全体を覆うようにヘッドバンドを調整します。イヤパッドと耳の間になるべく隙間ができないようにしてください。

4 接続した機器を再生し、音量を調整します。

5 使い終わったらパワースイッチをオフにして、専用ヘッドホンコードを外してください。

●ヘッドホンコードを本体に接続せずにノイズキャンセリング機能だけを使用することも可能です。また、電池が切れた場合でも、通常使用ができるスルー機能も搭載しています。

※本製品は性能確保のため、音楽再生音が外から聞こえやすくなっています。交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。

■付属品ポーチは着脱可能になっていますので、キャリングケースの下図の位置へ貼り付けてご使用ください。
本体をキャリングケースに収納する際には、必ずヘッドホンコードを本体から取り外してください。

■ テクニカルデータ

型式	：密閉ダイナミック型
ドライバー	：φ40mm
再生周波数帯域	：10～25,000Hz
ノイズキャンセルレベル	：最大−22dB* *英語表記の「Up to 20 dB」は平均値を示しています。
出力音圧レベル	：109dB/mW（ノイズキャンセル使用時）
インピーダンス	：300Ω（ノイズキャンセル使用時）
質量	：約210g（電池、コードを含まず）
ジャック	：φ3.5mm金メッキステレオミニジャック
電源	：DC1.5V（単4形アルカリ乾電池×1本）
電池寿命	：約40時間（使用条件により異なります。）

●付属品
　専用ヘッドホンコード（φ3.5mm金メッキステレオミニプラグ）1.6m
　　　　　　　　　　　（φ3.5mm金メッキステレオミニプラグ）1.0m
　φ3.5mm→φ6.3mm変換アダプター（金メッキプラグ）
　航空機用変換アダプター（金メッキプラグ）
　※航空機の搭載機器により、使用できない場合があります。あらかじめご了承ください。
　※このアダプターは本機専用です。他のヘッドホンには使わないでください。
　単4形アルカリ乾電池（動作確認用）
　専用キャリングケース
（改良などのため予告なく変更することがあります。）

アフターサービスについて
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。
お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先（電話受付／平日9：00～17：30）
商品のお問い合わせや故障・修理のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口及びホームページの「サポート」までお願いします。
●相談窓口（お問い合わせ） 0120-773-417
（携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211）
FAX：042-739-9120 Eメール：support@audio-technica.co.jp
●サービスセンター（故障・修理） 0120-887-416
（携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212）
FAX：042-739-9120 Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市成瀬2206 http://www.audio-technica.co.jp

132408342

オーディオテクニカ製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。お買い上げの製品に万一異常が生じた場合は、この保証書の規定により保証期間内に限り無料で修理させていただきます。修理の際にはこの保証書をご提示願いますので大切に保存してください。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために、大切に保管ください。
なお、保証期間経過後も責任をもって修理いたしますが、その際は有料となりますのでご了承ください。本製品の基本性能を維持するために必要な部品（補修用性能部品）の最低保有年限は製造打切後6年です。

保証規定（必ずお読みください）

保証期間中に取扱説明書に従った、正常なご使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。お買い上げのお店、当社サービスセンターへご連絡ください。また修理の際オーディオテクニカの判断で製品交換させていただくことがありますのでご了承ください。以下の場合は保証期間内でも修理実費をいただき、故障の状況によっては修理できないこともあります。

① 取扱いの誤りによる故障や破損。
② 天災
③ 本製
④ 表記
⑤ お買
⑥ 一般
⑦ 本保
⑧ 保証
開始

保証の対

●消耗・摩
マイクロホンの脱着式ウインドスクリーン、ミキサーのフェーダー類）及びポーチなどの収納ケース類や、その他付属品。また、接続した機器のソフト及びデータなどは、補償いたしかねますのでご了承ください。

修理品の送料

●保証の期間内、期間経過後を問わず、修理・検査のために製品を郵送、託送される場合は、お客様に送料をご負担いただきますのでご了承ください。製品は、輸送中の事故がないよう、梱包してお送りください。

修理品の保証

●修理後、同一個所に同一の故障を生じた場合は、保証期間を超過しても修理完了日より3ケ月以内に限り無料で修理いたします。

その他

①この保証書の記載内容によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。
②この保証書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)
③本保証書は再発行いたしませんので、紛失なさらないよう大切に保管してください。

audio-technica